

# まんが甲子園へ一丸

## 盛岡・杜陵高定時制の5人

盛岡・杜陵高定時制(三田正  
 巳校長、生徒99人)美術・イラ  
 スト部の5人は、5日から高知  
 市で開催される第32回全国高校  
 漫画選手権大会(まんが甲子園)  
 本選に出場する。昨年に続き、  
 2年連続で予選を突破。強みの  
 豊かな表現力とチームワークを  
 最大限に発揮し、入賞を目指す。  
 佐藤雛歌さん(3年)、立沢  
 知季さん(2年)と1年の藤原  
 心珠さん、門脇和音さん、鎌田  
 えりかさんが出場する。昨年も  
 挑戦した佐藤さんは「前回は3  
 人で出場して人手が足りず、細  
 部までこだわることができなく  
 て悔しかった」とリベンジに燃  
 える。

本選は210校による予選を  
 突破した21道府県、韓国、シン  
 ガポールの33校が出場。「新ル  
 ール」「スキル」など事前に示  
 された五つのテーマのうち、一  
 つが試合当日に発表され、5時  
 間半でB2用紙1枚に自由なこ  
 ま割りで制作する。2試合行い、  
 最優秀賞など入賞作品が決ま  
 る。

6月に示された5テーマ全て  
 に沿った原画を佐藤さんが約1  
 カ月で仕上げた。対象物を想像  
 し、目線の動きを意識。予選で

## 高きよから 表現力強み 入賞狙う



まんが甲子園の本選に出場する(左から)藤原心珠さん、佐藤雛歌さん、  
 門脇和音さん、立沢知季さん、鎌田えりかさんと5人で入賞を目指す

はテーマ「ナゾ」に対し、壁に  
 「張り紙禁止」と書かれた張り  
 紙が何枚も張られているという  
 矛盾から生まれる謎を表現し、  
 評価を得ている。

5人の仲の良さも強みとなり  
 そうだ。本番を想定し、誰がど  
 この部分を描くかといった役割  
 分担もばっちり。藤原さんは「初  
 参加なので大会の雰囲気がか  
 らず怖い面もあるが、楽しみ」  
 と準備に励む。

顧問の金井保憲講師(71)は  
 「個性的でチームワークが良い  
 ので、それぞれの役割を果たす  
 だろう。試合を楽しんでほしい」  
 と期待する。

(菊池美帆)

※ 岩手日報 2023年8月5日(土)付 この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

